

PRESS RELEASE

住まいと暮らしの
創造企業グループ

 長谷エグループ
HASEKO

2024年1月25日

長谷エグループ「廃食油活用システム」を構築 ～2050年カーボンニュートラルを目指した取り組み～

長谷エグループ（代表企業：㈱長谷エコーポレーション、本社：東京都港区、代表取締役社長：池上 一夫）は、この度、シニア事業を行う㈱長谷エシニアウェルデザイン（本社：東京都港区、代表取締役社長：幸谷 登）が運営する高齢者向け施設の厨房から排出される廃食油について、三和エナジー㈱（本社：神奈川県横浜市港北区、代表取締役社長：高松 克行）がバイオディーゼル燃料（B5）（※1）に精製し、㈱長谷エコーポレーション建設現場の建設機材に使用する軽油の代替燃料として供給する「廃食油活用システム」を構築いたしました。

本バイオディーゼル燃料を使用することによりCO₂排出量を軽油と比較して5%削減することが可能となります。

今後はグループの㈱長谷エ不動産・総合地所㈱等が開発するマンションや㈱長谷エコミュニティが管理するマンションから排出される廃食油も活用し、同様の取り組みを検討推進していきます。

（※1）軽油に5%以下のバイオディーゼル燃料を混合した燃料。

長谷エグループは、2050年カーボンニュートラルを目指した取り組みとして、2021年12月16日付で長谷エグループ気候変動対応方針「HASEKO ZERO - Emission」（※2）を制定しており、今回の取り組みは本対応方針に則った対応となります。また長谷エコーポレーションでは気候変動対応への取り組みとして建設現場において使用電力の100%再生可能エネルギー化（※3）をはじめ、電動機材の積極的採用も進めております。

（※2）<https://www.haseko.co.jp/hc/csr/environment/climate.html>

（※3）https://www.haseko.co.jp/hc/information/upload_files/20230619_1.pdf

■グループ「廃食油活用システム」【概念図】



㈱長谷エシニアウェルデザイン
高齢者向け施設【ブランシエール所沢】
厨房から出る廃食油を保管・提供



三和エナジー㈱
バイオディーゼル燃料 B100 に軽油を
混合し B5 を作成



㈱長谷エコーポレーション
建設現場の建設機材に軽油の代替燃料として
B5 を使用

【ご参考】

■建設作業所での電動機材採用



バッテリー駆動式コンパクトショベル「ECR25」、重量 2.7t、バケット容量 0.12 m³



バッテリー駆動式フォークリフト